

1.技 術	2.1 海水淡水化に関する調査
2.事 業 名	2.1.1 香川県海水淡水化可能性調査
3.キーワード	香川県、海水淡水化、調査
4.目 的	平成6年から10年度に実施した香川県における海水淡水化の調査検討から、およそ10年が経過し、処理技術の開発、改善等コスト低減が期待できる。このため、本調査では、前回の調査結果を踏まえ、導入規模、費用対効果などを含め、海水淡水化導入の可能性について調査することを目的とし、海水淡水化設備及び送水設備からなる概算事業費、年間必要経費、造水コストを試算した。
5.内 容	<p>今回の調査は、これまでの調査結果や既存資料を基に実施したものであり、海域調査や立地環境調査などの現地調査は行っていないことから、現地の実情と合致しない部分もあり、絶対的な評価を示せるものではないが、傾向として、コスト面からは、現状では海水淡水化施設導入の可能性は厳しいと判断された。</p> <p>今後、より低コスト化を目標として精度の高い導入計画を詳細に検討するためには、現地の事情と合致させるための現地調査のほか、最新の最適技術による詳細な施設設計が必要である。さらに製塩との複合施設を検討する場合の製塩工場との調整などを実施することも必要であると考えられる。</p> <p>なお、海外では、海水淡水化施設を含む水製造施設の運営を水供給事業者が直接行うことは少なくなっており、水製造事業者から水を購入するケースが多くなっている。これは、専門技術を保有している水製造事業者が、資金調達から水製造施設の運営・管理まで一貫して行うことによって、低コストで安心・安定した水資源を供給することが可能になってきたことに因るものであり、国内ではまだ少ないが、今後は、このような観点からの検討も必要となると考えられる。</p>
6.成 果	
7.参 照	香川県の委託事業